

第26回 賛助会員幹事店会開催

— 5月15日 —



挨拶をする政策委員長
山本泰生氏

第26回賛助会員幹事店会を5月15日(火)午前11時45分より日本橋三越本店特別食堂にて開催した。

当日は冒頭弊協会の政策委員長である山本泰生氏(三菱食品(株))が開会の挨拶を行い、次いで賛助会員幹事店を代表して、竹内秀樹氏(味の素(株))からご挨拶をいただいた。続いて奥山専務理事が3月に行われた理事会の概要を報告。今回は、特にメーカー各位から発言をいただく意見交換テーマはもうけず、日食協が取り組んでいる「消費税軽減税率対応企業間取引の対応」についての詳細について情報を共有した。また平成29年度農林水産省の補正予算の公募事業である、食品等物流効率化導入支援事業の「トラック入荷受付・予約システム」について説明し、センター入荷時のトラックドライバーの待機時間の軽減策を目指す考えを示した。



挨拶をする
味の素(株) 竹内秀樹氏



賛助会員幹事店会会場

各県ブロック動向

◆中部食料品問屋連盟

中部食料品問屋連盟は、6月18日(月)第69期定時総会を名古屋観光ホテルで開催。朝方に発生した大阪北部地震の影響が懸念されたが正会員・賛助会員合わせて284名が出席した。総会開催にあたり永津邦彦((株)トーカー)会長が挨拶を行い「来年10月の消費税率の増税では食品などを対象に軽減税率が導入され、食品業界として対応に追われる。システムの改修な

ど、軽減税率への備えは食品業界全体で取組む課題であり各方面と協力してすすめていきたい。トラックドライバーの負担軽減も食品業界の大きな課題であり、日食協が「競争」と「協調」の理念に基づき「加工食品卸売業の共同配送推進の手引き」を作成するなど、業界の課題に取り組んでいる。中部食料品問屋連盟の誕生から今年で70年となり、会員の皆様とともに周年をお祝いしたいと考え、記念式典や講演、小冊子や記念品の贈呈など記念した行事を計画しており、是非ともご参集を賜りたい。と述べた。ついで会長が議長に推されて各議案を審議し原案通り承認された。続いて日本加工食品卸協会の奥山則康専務理事が日食協重点活動報告を行い、消費税の引き上げと軽減税率制度への対応手引の作成や物流効率化への取組みなど協会の活動を解説した。

◆神奈川県食品卸同業会

神奈川県食品卸同業会は、6月20日(水)平成30年度定時総会を午後3時より横浜ベイシェラトンホテル&タワーズに於いて開催。当日は事務局の井草 勝氏(国分首都圏(株))の司会進行で始まり、最初に定足数を確認し、総会設立宣言を行った。ついで会長代行の斉藤浩一氏(横浜乾物(株))が開会挨拶を行い、議案の審議に入った。平成29年度事業報告、平成29年度会計報告及び監査報告、平成30年度事業計画案を全て原案通り拍手で承認した。ついで賛助会員も加わって日食協の奥山則康専務理事が「日食協活動報告」を行なった。終了後、記念講演会が行われ、講師にスポーツジャーナリスト平野 早矢香氏を迎え「昨日の自分より一歩前へ～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～」という演題で講演された。

◆大阪府食品卸同業会

大阪府食品卸同業会は、6月26日(火)大阪市都島区の太閤園で平成30年度の定時総会を開催。正会員、賛助会員144社のうち134社が出席した。魚住直之会長(伊藤忠食品(株))は「少子高齢化と言われて久しい。昨年ベストセラーになった『未来の年表』には日本の将来について厳しい現実が具体的に書かれている。われわれはそれから目を背けず、市場が縮小・変化することをもっと考えながら無意味な価格競争に歯止めをかけ、適正な利潤を得ていかなければならない」と挨拶。議案の審議に入り、平成29年度活動報告の承認の件、平成29年度収支決算報告の承認を求める件、平成30年度活動計画(案)の承認を求める件、平成30年度収支予算(案)の承認を求める件を全て原案通り拍手で承認された。総会終了後行われた講演会では財務省主税局の加藤博之課長補佐から軽減税率制度の導入と対策について述べ、続いて奥山則康専務理事が日食協活動報告を行って閉会した。

◆静岡食品卸同業会

静岡食品卸同業会は、6月29日(金)午後3時40分より静岡グランドホテル中島屋に於いて定時総会を開催した。最初に新任のメーカー責任者全員が挨拶して始まり、会長の山口 茂氏(ヤマキ(株))が議長席に着いて議案の審議に入った。事業として定着している新製品の合同説明会(試食会)などの平成29年度事業報告、平成29年度会計監査報告、平成30年度事業方針及び予算案を審議し、全て原案通り拍手で承認された。総会終了後、奥山則康専務理事が、「日食協事業活動報告」を述べ、終了後懇親会を行って閉会した。